

支援プログラム

社会福祉法人 むべの里光栄
 児童発達支援センターうべつくし園 児童発達支援

作成日 7年 1月 23日

法人理念	○「お客様こそ主人公」を原点にいつも優しさと思いやりをもって笑顔で顧客に尽す。 ○「住民こそ主人公の理念」から誰もが安心して暮らせる町を作るためにサービスの拡充に努める。 ○「働き甲斐のある職場」を目指し、資質の向上と技術の改善に励む。		
支援方針	○丈夫な身体を育てる：様々な遊びや体験を通して、よりよく身体を動かせるように。身体づくりを通して、生活習慣の自立につなげる。 ○生活習慣の自立：見通しが持ちやすい環境の中で主体性が育つように。日常生活への適応力を高め、自分のことは自分でやろうとする意欲を育てる。 ○コミュニケーションの楽しさを知り、社会性を育てる：伝え合う喜びが感じられるように。社会性の基礎となる親子関係作りを促し、情緒の安定や人への信頼関係を育てる。 ○物への興味、関心理解を深める：「やってみよう」「できた」という気持ちが育つように。視覚的な手がかりを使って、理解を深め、新しいことにチャレンジする気持ちを育てる。		
健康生活	親子通園を通して、家庭以外で過ごす場所として安心して過ごせるようになる。生活の流れを分かりやすく知らせながら、見通しを持って過ごせるようにする。身体づくりを通して自分で取り組める力を養いながら基本的な生活習慣の自立を目指す。生活リズムを作るとともに、流れの中で分かりやすいルーティンを作り、身の回りのことに取り組むことを習慣にする。	認知行動	好きなあそびを満足するまで行えるように保障することで、他のあそびや活動に興味を持てるようにする。好きなあそびや興味のあることを通して様々なパターンを経験する機会を作り、生活の幅を広げる。分かることや分かる行動を経験を通して増やししながら、生活に必要な知識を広げる。
運動感覚	好きな感覚、苦手な感覚、鈍麻、過敏など、それぞれの感覚の特性に合わせて環境調整を行う。情緒が安定できる感覚刺激を十分に取り入れながら安心して過ごせるようにする。しっかり身体を動かす機会を保障し、気分の発散を行う。全身運動から微細運動まで様々な身体の動かし方を体験することで、意欲的に活動に参加する力を育てる。	人間関係 社会性	親子通園を通して、安心しながら家族以外の他者と関わることを体験する。安心できる他者と一緒に集団活動を経験しながら、他児への興味を持てるようにする。物やあそびを共有することで、社会的なルールがあることを知る。集団でのルールや役割、他児との距離の取り方などを経験しながら、状況に合わせて行動が意識できるようになる。
言語 コミュニケーション	自発的な発信に丁寧に応えながら、「伝わった」という経験を増やす。伝えることの楽しさを感じながら、それぞれに合った視覚的な手掛かりを用いて、他者と「伝わり合う」ことの成功体験を積む。人を意識しながら要求を伝えることで、人への興味を広げる。生活の中で行動とことばを丁寧に繋げてきながら、ことばの理解を深め、コミュニケーションのやりとりを増やす。		家族支援 個別面談、親子通園（週1回）、保護者研修会（年4～5回）、フラーフカフェ（ペアレントメンター相談会）、あすカフェ（リフレッシュ会）
			地域支援連携 こども発達支援体制整備事業（施設支援、外来療育教室、子育てサロン相談会、福祉教育関係研修会など）自立支援協議会、子ども支援ネットワーク協議会、子ども子育て審議会
			職員の質の向上 スキルアップ研修、虐待研修、感染防止研修、法人内事例検討会など
営業時間	8：30～17：30		主な行事予定 みんなの会、運動会、保護者研修会（親子療育）、夕涼み会、つくしまつり親子遠足、クリスマス会、節分、卒園を祝う会
送迎	あり（マイクロバス等）		